



なぞって練習 [行書体]

源氏はその寺を出て少
 しの散歩を試みた。
 その辺をながめると、
 ここは高い所であつた
 から、そこそこに構え
 られた多くの僧坊が見
 渡されるのである。
 螺旋状になつた路のついで
 たこの峰のすぐ下に、
 それもほかの僧坊と
 同じ小柴垣ではあるが、
 目だつてきれいに廻ら
 されていいて、よい座敷
 風の建物と廊とが優美
 に組み立てられ、庭の
 作りようなどもきわめ
 て凝つた一構えがあつた。

■参考

※螺旋【らせん】

※路【みち】

※小柴垣【こしばがき】

※廻りむね【めぐりむね】

※凝つた【こつた】

(青空文庫のフリガナより)